



図書館 だより

図書館 ☎69♦3706

今月の特集

「夏を楽しむ」

夏休み真っただ中ですね。予定は決まりましたか。そこで今月は、夏にぴったりのレジャーや野外料理の本を紹介します。家族や友達と楽しい夏の思い出を作ませんか。



『あした、山へ行こう!』

鈴木みき / 著 講談社
基本の装備や山の楽しみ方をコミックでわかりやすく解説。



『花火 NHK 美の壺』

NHK「美の壺」制作班 / 編
日本放送出版協会
日本が誇る花火の真髄に迫る。



『ダッチオーブンといっしょ!』

中山 千賀子 / 著 河出書房新社
野外で便利なダッチオーブンのレシピや使い方を紹介。

分類特集は 「78」:

スポーツ
体育

78

ワクワク
するね!



『大人のための』

自転車通勤読本』

松田力 / 著 東京書籍
いろいろなことが起こる自転車通勤。これから始める方にも。



『いつでも、どこでも、だれでも』

ラジオ体操75年の歩み』

ラジオ体操七五周年記念誌編集委員会 / 編
おなじみ「ラジオ体操の歌」の譜面やQ&Aもぜひどうぞ。



『相撲のひみつ』

新田 一郎 / 著 朝日出版社
カラーのイラストと写真を添えて、詳しく解説する一冊です。

スポーツ、釣り、サイクリング、登山などに関する本があります!

「新しいスター」

■オタリアの導入

近いうちに「オタリア」というアシカに似た新しい動物(メス)が竹島水族館にやってきました。この号が発行されるころには話が進展しており、やってくるのは秒読みになっているかもしれません。そもそもは、現在1日4回のショーすべてに出て、毎日サボること、手を抜くことが生きがいのアシカの「アイ」の負担軽減目的でアシカの導入を考えていたのです。

しかし、国内外のさまざまな理由でアシカの入手は大変難しく、それならば新しいスターを、というところで「オタリア」を迎え入れることになりました。

■オタリアという動物

オタリアはアシカと比べると体が丸っこくて、顔も短くて丸く、俊敏な動きはできませんが足腰がしっかりしており、アシカとはまた違ったショーが期待できます。アシカよりもやや気が荒いらしく、現地では浜辺でペンギンを襲って食っているようなやつで



水族館



学芸員 小林龍二

竹島水族館
☎68♦2059

す。反面、波打ち際でシャチに豪快に食われていたりして、なかなか大変な動物です。

■最大の問題点

今まで竹島水族館にやってきたアシカたちは、動物園や水族館生まれで、生まれたときから人間をある程度知っていました。アイも初めから人を怖がらずに興味深げによってきたりしていました。しかし、今回のオタリアは南米の生息地で捕獲されてやってきました。これが今回の最大の問題。南米で気ままに暮らしていたのに、ある日突然捕獲されて飛行機に乗ってやってくるのですから、これは確実に人間不信で不良化していることでしょう。我々飼育担当の作業はまず不良少女の更正、心を開い

てもらふことからはじまり、これが最大のポイントとなります。失敗するとその後ずっと荒くれ者の不良動物を抱えることとなるからです。

できれば国内繁殖の気の優しいオタリアを、と業者とのやり取りで交渉していたのですが、国内繁殖は期待できず、野生のものしか無理な状態でした。

彼らには言葉が通じないので会話はもっぱらエサを通行手形に利用しての体と体での付き合いになります。すなわち、こちらはかまれないように接近し、オタリアはいついかなる時でもかめる体制で挑んできます。かまれずに、未来の竹島水族館のスターとうまく理解しあえるかとても不安です。